

母子を支える社会構造を学ぶ

府在宅保健師の会総会・研修会



府在宅保健師の会総会・研修会は、7月9日（木）メルパルク京都で開かれ、約35名の保健師が参加した。

開会にあたり本会草木事務局長が挨拶をし、また・野府在宅保健師の会会長は新型インフルエンザの動向に注意し、この研修会で得たものを今後の活動に活かしてほしいと挨拶した。

総会では、事務局より平成20年度事業報告と平成21年度事業計画（案）について説明し、原案通り可決した。また役員改選については、旧役員6名は引き続き再任され、新たに1名の役員が加わった。任期は平成21年4月1日から平成23年3月31日までの2年間。



研修会では、京都少年鑑別所精神科医の定元ゆきこ氏が、「子どもの健やかな発達を守るために～親と子を共に支える視点～」と題して講演を行った。具体的に事例を挙げながら母子を支える社会構造の問題点を指摘し、また親子間の信頼関係の重要性等について説明した。

参加者からは「具体的でわかりやすく、大変勉強になる講演だった。」「これからも研修会等でのためになる講演や情報交換を期待している。」等の感想が聞かれた。

